

営業収益・・・194億円(前年同期比0.2%増)、ショッピングクレジット・ペイメントの各事業は堅調、カード事業は新型コロナウイルス感染拡大による外出自粛等の影響により取扱高減少
 営業費用・・・172億円(同1.8%減)、人件費・物件費等はほぼ前年同期並み、貸倒引当金繰入額は減少したものの今後の動向を注視
 営業利益・・・22億円(同19.9%増)、経常利益・・・21億円(同17.9%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益・・・19億円(同174.7%増)

1. 要約損益計算書

(単位: 億円)		FY2019			FY2020			FY2020業績予想*	
		1Q	1Q	前年同期比	1Q	1Q	前年同期比	通期	進捗率
営業収益	1	194	194	0.2%	-	-	-	-	
営業費用	2	175	172	-1.8%	-	-	-	-	
販売費及び一般管理費	3	168	165	-1.6%	-	-	-	-	
人件費・物件費等	4	132	132	0.3%	-	-	-	-	
クレジットコスト	5	36	33	-8.4%	-	-	-	-	
貸倒引当金繰入額	6	36	33	-8.4%	-	-	-	-	
利息返還損失引当金繰入額	7	-	-	-	-	-	-	-	
金融費用	8	7	7	-7.6%	-	-	-	-	
営業利益	9	18	22	19.9%	-	-	-	-	
経常利益	10	18	21	17.9%	-	-	-	-	
親会社株主に帰属する四半期純利益	11	7	19	174.7%	-	-	-	-	

*現時点で未定

(中期経営戦略の基本方針) 価値共創による成長追求と経営資源の最適活用による提供価値の最大化

【価値共創型ビジネス～アプラスの機能を活用した新規ビジネス】

・ネオバンク・プラットフォーム「BANKIT[®]」を提供開始、新生銀行グループが有する決済、為替、与信機能などの金融サービスをカフェテリア形式でパートナー企業に提供

【ショッピングクレジット】

・昭和リース協業のベンダーリース、個人向けオートリースは引き続き堅調

【カード】

・ショッピングクレジットとの親和性を高めた「APLUS CARD neo」の発行開始

・法人プリペイドカード「MoneyT Global」による経費精算自動化が可能に

【ローン(ハウジング含む)】

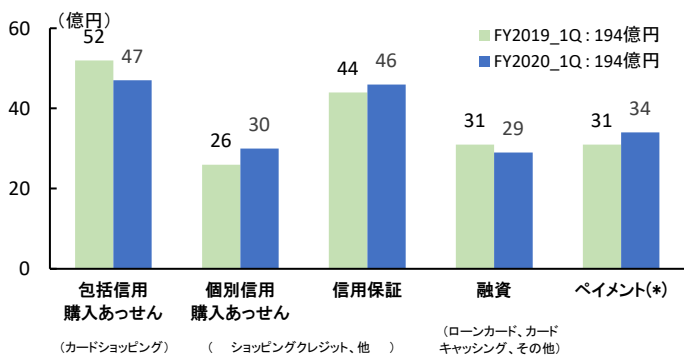
・返済期間が最長35年の「リフォームローン ゆとりR35」の金利優遇キャンペーンとして「森林再生リフォームローン」を受付開始

【ペイメント^(*)】

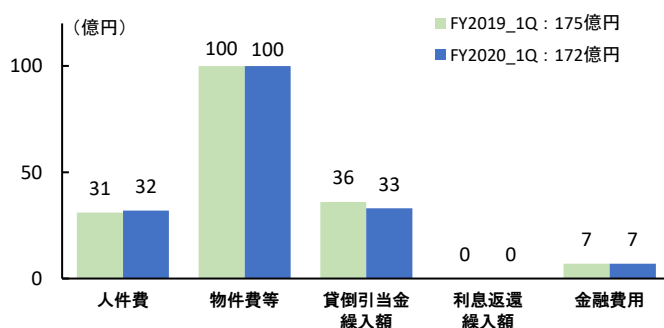
・インバウンド主力の海外コード決済は厳しい環境ながらも、国内向けの集金代行ビジネスは安定成長

2. 部門別営業収益

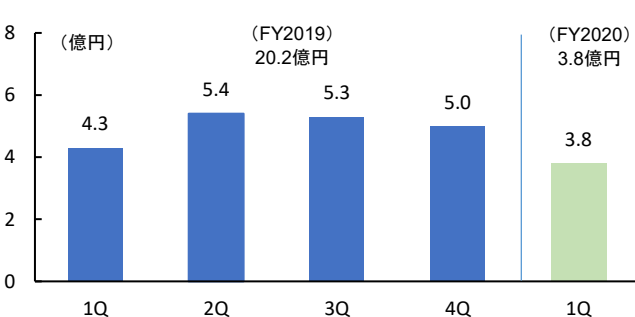
※グラフには金融・その他収益を含まない



3. 営業費用内訳

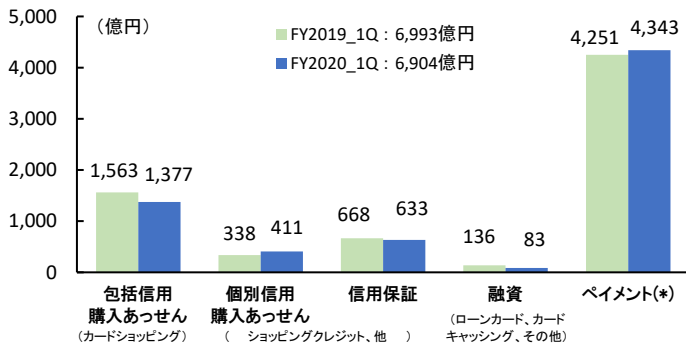


4. 利息返還実績四半期推移



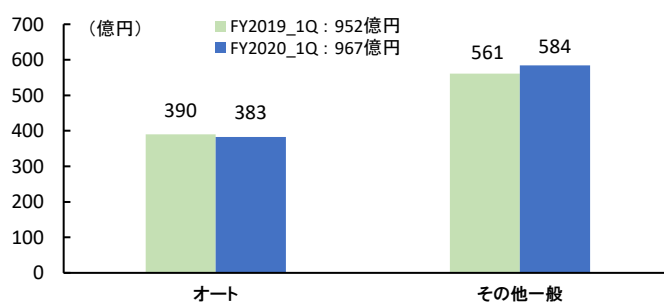
5. 部門別取扱高

※グラフにはベンダーリース・その他取扱高を含まない

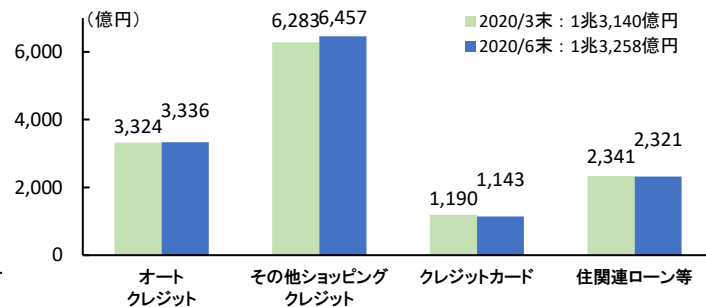


6. ショッピングクレジット取扱高内訳

※「個別信用購入あっせん」と「信用保証」の一部



7. 営業性資産残高(信用保証業務含む)



(*) ペイメント・・・集金代行(コンビニ、口振)、家賃保証、コード決済 など